一般質問

市長がらみの持ち込み企画

市議　保坂 れい子

随意契約に問題あり

民間から提案された企画を市の事業として委託をする際の問題点を取り上げました。

鎌倉市では、２０１２年から、選挙管理委員会の若年層向け啓発事業「未来鎌倉市」と、観光案内版整備の目的でインターネット上で寄附を募る「かまくら想いプロジェクト」が実施されました。また、２０１３年９月には鎌倉の名品等を紹介・販売するサイト立上げ事業「鎌倉ｓｇ（エスジー）」が業務委託契約されました。これら３件の共通点は、民間から持ち込まれた企画であることと、随意契約されたことです。

自治体における契約は競争入札が原則で、任意で決定した相手と締結する随意契約はあくまで例外です。公募型プロポーザル（※）を経て随意契約を行なう形もありますが、持ち込まれた企画を利用してプロポーザルを実施する場合は、企画を持ち込んだ事業者が有利にならないよう、発注の仕様書への配慮や十分な公募期間の設定が必要であると指摘しました。

通販サイトは開設中止

また、「未来鎌倉市」と「かまくら想いプロジェクト」の委託先は別法人ですが、代表者は市長と個人的つながりのある同一人物です。委託先に偏りのある随意契約は大きな問題です。

「鎌倉ｓｇ」については、６月に企画が持込まれた時に対応した観光商工課が、随意契約には向かないと判断したにもかかわらず、所管を政策創造担当に移して随意契約が結ばれました。契約内容は、支払う必要のない消費税を支払うなど、欠陥のあるものでした。議会でも問題となり、12月19日に市長が今年度のサイト開設を中止しました。今後もこの動向については厳しい目でチェックしていきます。

※複数の受託希望者に目的に合致した企画を提案させ、その中から企画・提案能力のある者を選ぶ契約方式

生ごみはやっぱりバイオ

市議　三宅 まり

戸別収集・有料化は見送り

家庭系ごみの戸別収集・有料化の全市実施に向けて、12月議会に条例提案を行なうとしてきた松尾市長でしたが、提案を見送りました。しかし、できるだけ早い時期に提案したいとし、戸別収集と有料化を切り離して考えるとも答弁しました。場当たり的で、市民も議会も振り回されています。一番考えるべきことは、将来の鎌倉市のごみ処理体制を見据えて、燃やすごみと資源化するものを明確にすることです。

今、廃棄物減量化資源化推進審議会で、最適な資源化を検討しているところです。燃やすごみの５割を占める生ごみの処理について検討すべきです。今回の一般質問では、長岡市のバイオマス発電センターの視察報告とともに、生ごみの資源化を改めて提案しました。

長岡市の施設は19億円

松尾市長が取りやめた、生ごみと下水汚泥との混合処理施設の計画では、65億円の建設費と試算されていました。しかし、鎌倉市より人口規模の大きい長岡市の施設建設費は19億円で、半分は国庫補助です。また、15年間の運営・管理費を28億円で委託していました。さらに、ステーション収集・有料化で、４割の燃やすごみが減ったそうです。他に、CO_2は年間２０００ｔの削減、焼却施設の統廃合と最終処分場の延命等で15年間で約35億円の削減等、メリットが多くありました。また、発酵残渣は燃料として売却し、最終処分費も節約できます。

市民の分別への協力と民間と行政の連携で、生ごみをエネルギーに変える事例として、大変参考になりました。「鎌倉市だってできる。燃やさず分別して資源化しよう！」と提案しましたが、「生ごみは家庭で処理できる唯一のごみだから、家庭で処理する」という市長の答弁で、政策論議になりませんでした。

歴史文化交流センター予定施設視察

11月18日、扇ガ谷1丁目の歴史文化交流センター予定地を視察しました。世界文化遺産登録に向けてガイダンス施設にする目的で取得し、登録推薦の取下げ後、用途が保留となっていた施設です。昨年９月議会で、「既存の建物２棟は、埋蔵文化財の展示や学習・交流の場として、２０１５年度末を目途に、先行して開設、その後、残りの用地と合わせた全体で博物館とする」という整備方針が示されました。

参加者からは、建物の贅沢さや立地の良さに感嘆の声があがる一方、公共施設としては使いにくい、規模が小さく入館料収入が見込めない等の指摘がありました。維持管理費は、現状で年間８００～９００万円、開設すれば優にその３倍超です。

検討中の基本計画は２月議会で示される予定ですが、カフェなどの民営スペースを設けて収入確保を図るなど、鎌倉のブランド力を生かした計画が望まれます。全体の博物館構想については、緊縮財政の中、慎重な判断が求められます。

12月鎌倉市議会・トピックス

■子宮頸がんワクチン接種、実態調査を実施

鎌倉市は、全国で初めて子宮頸がんワクチンの接種者全員に体調変化の実態調査を実施しました。対象者3060人中、1795人から回答が寄せられました。818人が接種後に痛みや腫れ、だるさ、頭痛、生理不順等があり、11人は今も症状が継続しています。全3回接種で、回数を重ねるたびに体調変化の割合が高くなっていることもわかりました。また、2回目以降の接種を見送る人は73.2％、検討中は17％で、多くの人が接種に不安や疑問を抱いています。

市は、この結果を県・国に情報提供するとしています。全国調査に着手し、十分な情報提供に努め、判断材料を示すことが必要です。併せて、被害者の速やかな救済に全力で取り組むべきです。

観光厚生常任委員会として、国に対して「予防接種被害者の速やかな救済を求める意見書」の提出を議会に提案し、全員賛成で採択されました。

12月鎌倉市議会　【その他の一般質問項目】

保坂れい子　●防災（津波対策、がけ地対策、盛土調査、要援護者対策）

三宅まり　●「子ども・子育て新制度」を見据えて
・鎌倉市のＭ字カーブについて・施設型の複数保育ママ制度と小規模保育の導入・幼稚園の長時間保育の推進
・一時預かり保育の拡充・選べる学童保育を地域で展開
●障害福祉サービス等利用計画作成について
●「空家にしない条例」の制定を提案

編集後記

石原前都知事の後任として、行革を旗印に高い支持率で当選した猪瀬知事であったが、辞任に追い込まれる姿は見るに堪えなかった。都知事選には 50 億円の経費がかかるそうで、これこそが壮大なる無駄遣いだ。ポスト猪瀬に都民は何を期待するか注目したい（M.S）

《会費・カンパ振込先》
郵便振替口座番号：
00200-0-18713
口座名　ネットワーク鎌倉
Tel.0467-42-8636

それって、政治だよ。

会員募集中！
チラシ配布者も
募集中です